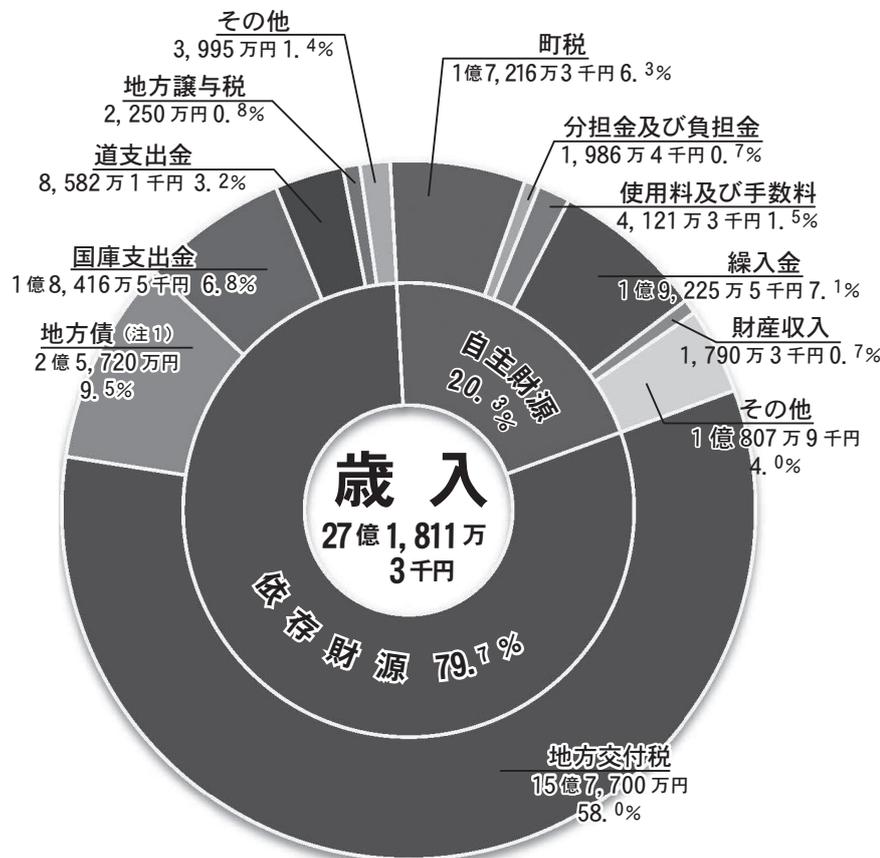


# 平成30年度 まちの予算の概要

一般会計 27億1,811万3千円(前年度比 ▲2.6%、7,180万8千円減)  
 特別会計 6億6,022万3千円(前年度比 ▲10.4%、7,639万1千円減)  
 総 額 33億7,833万6千円(前年度比 ▲4.2%、1億4,819万9千円減)  
 (千円)

会計別	区分	平成30年度 予算額	平成29年度 当初予算額	比較		備考	
				増減額	増減率(%)		
一	般 会 計	2,718,113	2,789,921	▲71,808	▲2.6	特別会計繰入金 250,758	
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	170,457	185,189	▲14,732	▲8.0	一般会計繰入金 76,042	
	国民健康 保険事業	事業勘定	141,304	202,233	▲60,929	▲30.1	" 36,191
		直診勘定	76,018	74,663	1,355	1.8	" 23,739
	下 水 道 事 業	56,946	63,638	▲6,692	▲10.5	" 46,780	
	介 護 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	47,078	44,463	2,615	5.9	" 18,531	
	産 業 交 流 雇 用 対 策 推 進 事 業	127,586	128,169	▲583	▲0.5	" 32,663	
	後 期 高 齢 者 医 療	40,834	38,259	2,575	6.7	" 16,812	
特 別 会 計 合 計		660,223	736,614	▲76,391	▲10.4	" 250,758	
合 計		3,378,336	3,526,535	▲148,199	▲4.2		



## 一般会計予算の概要

平成30年度予算の編成は、第5次積丹町総合計画など、町の個別事業計画との整合性の確保の重要性を十分認識しながら、今後大きな財政負担が想定されるIP電話システムの更新対策、役場庁舎の耐震化対策、各地区の防災・減災対策の推進などの懸案課題を踏まえた財政の健全性の維持や、歳入の6割を占める平成29年度普通交付税の大幅な減額の実状を考慮し、慎重な予算編成に努めました。

また、これまで行っていたバスカード等の助成や岬の湯じゃこたん入浴優待券、インフルエンザ予防接種の助成などの町単独事業については、当初予算への計上を見送りせざるを得なく、かつ、基金積立金の一部取崩しを行うなど厳しい予算編成となりました。

(注1) 地方債の臨時財政対策債は100%、過疎対策事業債は70%、辺地対策事業債は80%が償還時に地方交付税で補てんされます。

## (目的別歳出)

(千円)

区分	歳出額	構成比	前年度比
議会費	61,129	2.2%	1.2%
総務費	779,012	28.7%	▲12.7%
民生費	423,256	15.6%	▲7.3%
衛生費	152,654	5.6%	0.4%
農林水産業費	131,144	4.8%	▲24.6%
商工費	76,987	2.8%	6.4%
土木費	341,754	12.6%	45.9%
消防費	189,774	7.0%	▲2.8%
教育費	211,626	7.8%	2.7%
公債費	339,356	12.5%	1.1%
その他	11,421	0.4%	▲3.6%
合計	2,718,113	100%	▲2.6%

### 歳出

懸案課題の解決のための投資的事業は、国庫補助事業などの採択要望に努める一方、過疎対策事業債、辺地対策事業債など、良質な起債の活用に留意しました。7つの特別会計の運営収支改善対策の具体化が待たれる状況下で、現状での収支均衡を維持し、「赤字の累積化回避」を最優先するため、2億5,075万8千円（前年度比6,322万円、20.1%減）、を繰出金として計上しました。

平成30年度の歳入財源確保の見通しについては、国の公共事業、社会保障、人口減少対策等の政策予算の見直しや、地方負担の不確定要素が例年になく多い年度となっています。

一般会計の歳出予算のうち、人件費、公債費、扶助費などの義務的経費と、消防組合・衛生組合・団体等への負担金・補助金と、特別会計への繰出金の合計17億5千万円だけで、国からの地方交付税見込額の15億7,700万円を超え、町独自の振興策のための財源に余裕がない財政構造が続いています。

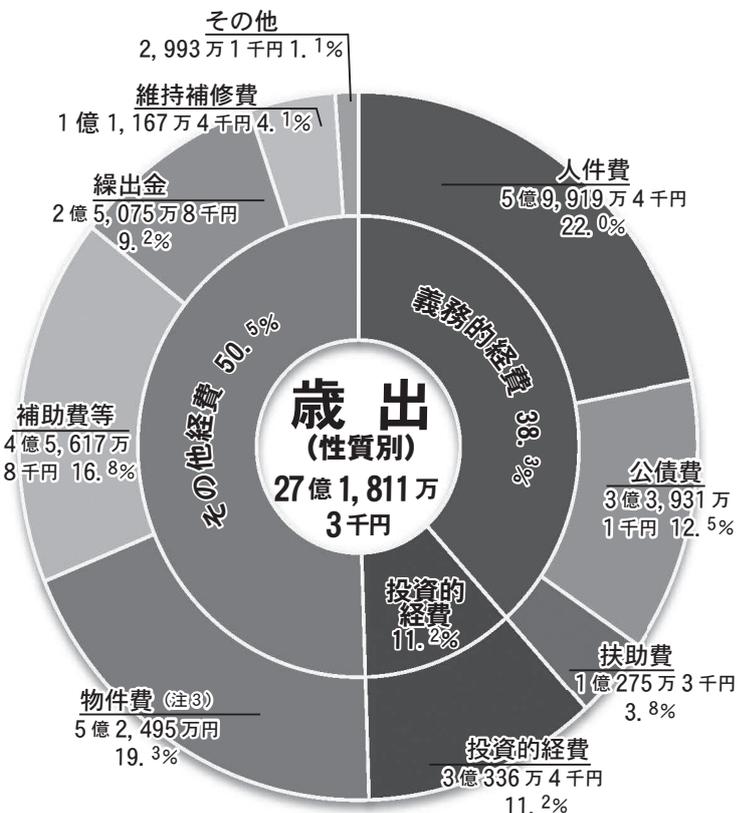
平成30年度に予算を繰り越して実施する事業 (千円)

事業名	事業費
①放射線防護対策事業	340,000
②分収造林事業	10,213
③入舸地区地籍調査事業	24,304
④島武意通り線道路改良事業	29,500
合計	404,017

(注2) この事業予算は、30年度予算とは別に財源が前年度から繰越留保されています。

### 歳入

町税1億7,216万3千円（前年度比769万8千円、4.7%増）地方交付税は普通交付税14億2,000万円、特別交付税1億5,700万円、合計15億7,700万円（同9,400万円、5.6%減）、地方債は臨時財政対策債6,280万円、過疎対策事業債1億790万円、辺地対策事業債1,730万円、公営住宅建設事業債6,920万円、合計2億5,720万円（同2,310万円、9.9%増）、基金繰入金1億9,204万3千円（同1,284万3千円、6.3%減）などを計上しました。



(注3) 物件費：賃金、旅費、需用費、委託料等消費的性質の経費



# 平成30年度予算 主な事務・事業

町づくりの指針である、第5次総合計画（平成24年度～平成33年度）の5つの基本目標に沿った、平成30年度の主な事務・事業を紹介します。

（注）事業費は千円単位、（ ）は、国・道補助金等又は地方債

## 1 豊かな郷土で自ら学び、地域文化を育むまちづくり『生涯学習』

**屋内運動場非構造部材耐震改修事業（新）**  
229万1千円（150万円）  
美国小学校の屋内運動場の照明など非構造部材の耐震改修。

**姉妹都市児童相互交流事業** 120万5千円  
姉妹都市高知県香美市児童との相互交流の実施。

**学校教育推進事業** 1,391万7千円  
外国語指導助手や特別支援員、臨時教員の配置。

**海洋センターを活用した地域コミュニティの再生事業** 240万円  
あらゆる年代が集まる「地域コミュニティ」の拠点として「はつらつウォーキング事業」等を実施。

## 2 地域ぐるみでつくる健康、支えあう福祉のまちづくり『町民福祉』

**介護用特殊浴槽購入事業（新）**  
492万5千円（420万円）  
平成6年に購入後、経年劣化が著しい介護用特殊浴槽の更新。

**在宅サービス車購入事業（新）**  
170万円（130万円）  
1人暮らしの方等へお弁当を配達する「配食サービス事業用」軽乗用車の購入。

**福祉バス購入事業（新）**  
1,206万9千円（1,180万円）  
車イスを利用する方が乗り降りしやすい、リフト付き福祉バスの更新。

**憩の広場整備事業** 1,400万円（1,390万円）  
第3年次計画の幼児用遊具や四阿等の整備。

## 3 自然と共生し、安全で快適な暮らしを実現するまちづくり『防災・生活基盤・環境』

**原子力防災対策事業（新）** 611万8千円（441万円）  
避難所である美国小学校の女子用トイレを増設。

**島武意通り線道路改良事業** 1,370万円  
(1,369万2千円)  
拡幅改良延長工事。

**クリーンセンターホイールローダ購入事業（新）**  
812万5千円（700万円）  
平成8年に購入した廃棄物処理作業用車輛の更新。

**公営住宅等長寿命化改善事業**  
1億1,855万4千円（1億1,846万4千円）  
多茂木団地2棟目の建設工事に着工。

## 4 産業が連携し、豊かな地域資源をまもり活かすまちづくり『産業振興』

**神威岬灯台点灯130周年記念事業（新）** 95万円  
「恋する灯台」に認定されたことを記念して、小樽海上保安部と連携した情報発信や各種イベントを実施。

**農業次世代人材投資事業（新）** 150万円（150万円）  
新規就農者の経営確立を助成支援するため補助金を交付。

**日司漁港上架施設棧橋整備事業（新）**  
114万9千円（110万円）  
漁船上架作業を安全に行うための棧橋整備の助成。

**水産資源付加価値向上対策事業** 574万円  
時化でウニ漁が出漁できない日や、9月でも陸上水槽での蓄養により、積丹ブランドのウニの安定供給試案調査。

## 5 みんなが主役、未来へつなぐ協働のまちづくり『コミュニティ・行財政』

**ふるさと納税推進事業** 4,276万3千円  
寄附者への地元特産品等の返礼品の贈呈経費。

**地域おこし協力隊等推進事業** 2,676万8千円  
地域おこし協力隊6名、定住支援員1名を配置。

**地域間交流推進事業** 140万円  
町地域間交流推進協議会が実施する高知県香美市との交流事業への助成。